

## 先進医療評価委員会からの指摘事項

先進医療技術名：<sup>131</sup>I-MIBG を用いた内照射療法 神経芽腫

2021年11月1日

所属・氏名：金沢大学附属病院核医学診療科

若林 大志

1. 本先進医療の副次評価項目である有効性の評価は、内照射、大量化学療法、造血幹細胞移植後の評価であるため、本研究では、それらを併用したときの安全性および有効性は確認されているが、内照射単独療法の有効性に関しては、今回は確認していないということでしょうか。

総括報告書には内照射単独療法の有効性であるようにも解釈できる記載があり、誤解を招きやすいため、確認させていただきたい。

## 【回答】

ご指摘の通り、本先進医療の副次評価項目であります有効性の評価は、<sup>131</sup>I-MIBG 内照射療法を併用した大量化学療法及び造血幹細胞移植後に実施しております。したがって <sup>131</sup>I-MIBG 内照射単独療法での有効性は確認しておりません。

以上